

自動車リサイクル制度の施行状況の 評価・検討に関する報告書に基づく 対応状況について

平成28年9月30日

経 済 産 業 省

環 境 省

1. 対応一覧

番号	取組・検討事項	資料
1	解体業者と自動車製造業者等の相互コミュニケーションによる環境配慮設計の促進	3-2-①
2	環境配慮設計の進捗評価・活用方法の検討、ユーザー選択の促進	3-2-②
3	再生資源活用の課題の整理及び利用の促進	
4	再生資源利用車へのユーザー選択を促す情報発信及び特預金等の活用によるインセンティブ等の検討	
5	リユース・リビルド部品に関する実態把握・利用促進等及びユーザー選択を容易にする状況構築	3-2-③
6	有害物質削減に向けた対応の在り方の検討	3-2-④
7	リサイクルの質の向上と収益力向上を両立させる解体・破碎手法の促進	
8	全部再資源化手法の拡大方策の検討及びリサイクルプロセス全体の最適化の推進	
9	自動車リサイクル制度全体の評価に向けた指標・目標等の検討	
10	使用済自動車の引取実態等の把握及び引取業者による情報提供の在り方の整理	3-2-⑤
11	引取業者による使用済自動車の価値等に係る情報発信の推進	
12	自治体による指導の円滑化・徹底に向けた環境作り及び不適正事案・無許可解体事業者対策の実施	
13	優良事業者の差異化及び講習制度の充実等に向けた検討	3-2-⑥
14	不法投棄等の未然防止・解消に向けた課題整理及び対応方法の一般化・周知	3-2-⑦
15	大規模災害発生時等の非常時の対応に関する課題の共有及び体制の整備	
16	移動報告情報等を活用した自治体による監督・取締り及び自動車製造業者等による監査の強化	3-2-⑧
17	エアバッグ類・フロン類の適正処理の徹底に向けた検討	3-2-⑨
18	廃発炎筒の処理に係る安全性の確保に向けた対応	3-2-⑩
19	自動車リサイクル制度の発展に向けた J A R C 機能の一層の発揮	3-2-⑪
20	自動車製造業者等及びユーザーの両者の負担低減に向けた J A R C 運営費用の見直し	3-2-⑫
21	J A R C 運営の効率化に向けた P D C A サイクルの強化等評価の実施	3-2-⑬
22	特預金の使途に関する検討	3-2-⑭
23	リサイクルに係る費用の内訳の公表等を通じたリサイクル料金の水準に関するモニタリングの実施	3-2-⑮
24	A S R 再資源化の体制に係る検討	3-2-⑯
25	リサイクル料金の余剰部分の拠出に係る仕組みの構築	
26	次世代自動車のリサイクルに係る技術開発、状況把握、セーフティネットの整備	3-2-⑰
27	自動車に係る炭素繊維強化プラスチック（CFRP）のリサイクル技術の開発及びセーフティネットの整備	3-2-⑱
28	自動車リサイクルに係る国際協力及び関連事業者の海外進出の推進	3-2-⑲

2. 報告書に基づく対応の状況

番号	取組・検討事項	取組状況	今後の進め方	詳細
1	解体業者と自動車製造業者等の相互コミュニケーションによる環境配慮設計の促進	解体業者と自動車製造業者等による意見交換を実施。	今後も継続的に意見交換を実施する。	資料 3-2-①
2	環境配慮設計の進捗評価・活用方法の検討、ユーザー選択の促進	3 R 検討会において、対応の方向性について議論を実施。	3 R 検討会での議論を踏まえ、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-②
3	再生資源活用の課題の整理及び利用の促進	3 R 検討会において、対応の方向性について議論を実施。	3 R 検討会での議論を踏まえ、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-②

※自動車リサイクルに係る3 Rの推進・質の向上に向けた検討会については「3 R検討会」とする。
 情報発信の在り方等に関する検討会については「情報発信検討会」とする。
 平成27年度自動車リサイクル制度の安定化等に関する自治体懇談会については「自治体懇談会」とする。

2. 報告書に基づく対応の状況

番号	取組・検討事項	取組状況	今後の進め方	詳細
4	再生資源利用車へのユーザー選択を促す情報発信及び特預金等の活用によるインセンティブ等の検討	3 R 検討会において、対応の方向性について議論を実施。	作業部会を設置して制度の具体化に向けた検討を行う。	資料 3-2-②
5	リユース・リビルド部品に関する実態把握・利用促進等及びユーザー選択を容易にする状況構築	<ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル部品のラベリング規格化に向けた検討を実施。 ● 情報発信検討会において、利用促進に向けた対応の方向性について議論を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ラベリング規格のJ I S原案を今年度中に作成。 ● 情報発信検討会の議論を踏まえ、関係主体において取組を進める。 	資料 3-2-③ 資料 3-2-④
6	有害物質削減に向けた対応の在り方の検討	3 R 検討会において、対応の方向性について議論を実施。	3 R 検討会での議論を踏まえ、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-②
7	リサイクルの質の向上と収益力向上を両立させる解体・破砕手法の促進	3 R 検討会において、対応の方向性について議論を実施。	3 R 検討会での議論を踏まえ、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-②

2. 報告書に基づく対応の状況

番号	取組・検討事項	取組状況	今後の進め方	詳細
8	全部再資源化手法の拡大方策の検討及びリサイクルプロセス全体の最適化の推進	3R検討会において、対応の方向性について議論を実施。	3R検討会での議論を踏まえ、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-②
9	自動車リサイクル制度全体の評価に向けた指標・目標等の検討	3R検討会において、対応の方向性について議論を実施。	3R検討会での議論を踏まえ、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-②

【留意事項】

3R検討会においては、特に上記の議題を対象として具体的な検討を実施したが、これら以外の観点の重要性についても留意すべきとの指摘があった。以下にその主な内容を記す。

- 環境配慮設計の中で特に易解体性を中心に検討を実施しているが、他の環境配慮設計の観点にも留意が必要。
- 再生資源の需給拡大に絞った検討を実施しているが、リサイクル部品の利用促進という観点も重要。
- リサイクルプロセス全体の最適化を図るとしつつ、リサイクル工程のみを対象として検討を実施している。設計・製造を含めて、全体最適化を議論することも重要。
- 指標の検討においては、他分野で、重みを付けて1つの指標にまとめる取組もあることに留意。

2. 報告書に基づく対応の状況

番号	取組・検討事項	取組状況	今後の進め方	詳細
10	使用済自動車の引取実態等の把握及び引取業者による情報提供の在り方の整理	情報発信検討会において、対応の方向性について議論を実施。	情報発信検討会の議論を踏まえ、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-④
11	引取業者による使用済自動車の価値等に係る情報発信の推進	情報発信検討会において、対応の方向性について議論を実施。	情報発信検討会の議論を踏まえ、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-④
12	自治体による指導の円滑化・徹底に向けた環境作り及び不適正事案・無許可解体事業者対策の実施	自治体懇談会において、課題の整理及び対応の報告を実施。	自治体懇談会の議論を踏まえ、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-⑤
13	優良事業者の差異化及び講習制度の充実等に向けた検討	優良な事業者の育成に向け、各種講習制度等の活用を推進。	引き続き、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-④
14	不法投棄等の未然防止・解消に向けた課題整理及び対応方法の一般化・周知	自治体懇談会において、課題の整理、対応の報告を実施。	自治体懇談会の議論を踏まえ、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-⑥

2. 報告書に基づく対応の状況

番号	取組・検討事項	取組状況	今後の進め方	詳細
15	大規模災害発生時等の非常時の対応に関する課題の共有及び体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> JARCにおいて、大規模災害発生時の対応の在り方及び事前対応の必要性について検討。 TH・ARTチームにおいて、施設事故発生時の対応について検討。 	検討結果に基づき、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-⑦ 資料 3-2-⑧
16	移動報告情報等を活用した自治体による監督・取締り及び自動車製造業者等による監査の強化	自治体懇談会での議論も踏まえつつ、国とJARCにおいて検討。	検討結果に基づき、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-⑨
17	エアバッグ類・フロン類の適正処理の徹底に向けた検討	自治体懇談会での議論も踏まえつつ、国と、JARC、自動車再資源化協力機構において検討。	検討結果に基づき、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-⑩
18	廃発炎筒の処理に係る安全性の確保に向けた対応	破碎業者の引取拒否理由に解体自動車に発炎筒が残置されていることを追加する省令改正を実施。	省令改正を踏まえ、関係主体において廃発炎筒の適切な取扱いに努める。	資料 3-2-⑪

2. 報告書に基づく対応の状況

番号	取組・検討事項	取組状況	今後の進め方	詳細
19	自動車リサイクル制度の発展に向けたJARC機能の一層の発揮	JARCによる、情報発信、システム情報の活用等の取組の拡大について検討を実施。	検討結果に基づき、JARCにおいて取組を進める。	資料 3-2-⑫
20	自動車製造業者等及びユーザーの両者の負担低減に向けたJARC運営費用の見直し	JARC運営費用の見直し案について、本合同会議において議論を実施。	本合同会議における議論を踏まえ、平成29年度からのJARC運営費用の改定を目指す。	資料 3-2-⑬
21	JARC運営の効率化に向けたPDCAサイクルの強化等評価の実施	JARCにおいて、単年度事業計画の抜本的見直しを実施。	毎年度フォローアップを実施し、更なる改善に結びつけることを目指す。	資料 3-2-⑭
22	特預金の使途に関する検討	JARC資金管理業務諮問委員会において、今後の特預金使途の在り方について検討を実施。	JARCにおいて、出えんに向けた具体的検討を進める。	資料 3-2-⑮

2. 報告書に基づく対応の状況

番号	取組・検討事項	取組状況	今後の進め方	詳細
23	リサイクルに係る費用の内訳の公表等を通じたリサイクル料金の水準に関するモニタリングの実施	自動車製造業者等が毎年度公表する実績情報において、再資源化等に要した費用をその内訳を含めた形で公表。	再資源化等に要した費用の内訳の公表状況等を踏まえつつ、引き続きリサイクル料金の水準についてモニタリングを継続する。	資料 3-2-⑯
24	A S R再資源化の体制に係る検討	—	リサイクルの質の向上や効率化に向けて現状の体制で引き続き取組を進める。	—
25	リサイクル料金の余剰部分の拠出に係る仕組みの構築	払い渡しを受けたリサイクル料金の余剰部分の拠出について検討を実施。	平成29年度よりリサイクル料金の余剰部分をリサイクルの高度化に資する公的な用途に拠出することを目指し、仕組みの構築を進める。	資料 3-2-⑰

2. 報告書に基づく対応の状況

番号	取組・検討事項	取組状況	今後の進め方	詳細
26	次世代自動車のリサイクルに係る技術開発、状況把握、セーフティネットの整備	関係主体において取組を実施。	引き続き、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-⑱
27	自動車に係る炭素繊維強化プラスチック（CFRP）のリサイクル技術の開発及びセーフティネットの整備	CFRPの燃焼実証試験など関係主体において取組を実施。	引き続き、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-⑲
28	自動車リサイクルに係る国際協力及び関連事業者の海外進出の推進	国において海外進出支援のための事業や自動車リサイクルに係る国際会議への協力等の取組を実施。	引き続き、関係主体において取組を進める。	資料 3-2-⑳